

コンプライアンス

より詳しい
情報は、こちらを
ご覧ください。▶



基本的な考え方

NSKでは、「コンプライアンス」をコアバリューの一つとして位置づけています。NSKにとっての「コンプライアンス」とは、法令遵守のみならず、社内規程、社会規範、企業理念に従って、誠実かつ公正な活動を行い、社会からの信頼を得て、国内外の経済、社会に貢献することを意味しています。

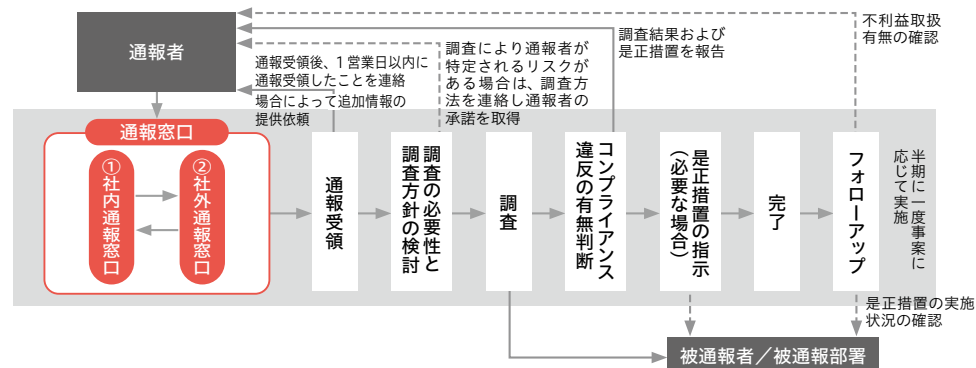
内部通報制度

NSKグループでは、NSK企業倫理規則やコンプライアンスに反する行為またはその恐れのある行為を知った場合、従業員が各国・地域に設置した内部通報窓口へ通報することを社内規程で明確にし、従業員に周知しています。また、一部の国・地域では、サプライヤーからの通報も受け付けています。

通報窓口は社内通報窓口、社外通報窓口を設置しており、24時間通報を受け付けています。匿名でも利用でき、各窓口へ通報したことを理由に不利益な扱いを受けないことをルールとして定めています。通報された事案に対して、日本では法務コンプライアンス本部が、海外では現地法務部が、必要に応じ関係部署の協力を得ながら調査を行い、コンプライアンス違反が明らかになった場合は、速やかに必要な是正措置や再発防止策を講じています。

FY2023はグローバルで131件の通報を受け付けました。

内部通報体制図



コンプライアンス意識の向上

NSKグループでは、各部門におけるコンプライアンスリスクの低減を目的として、部門別のコンプライアンス研修を実施しています。

営業部門では、FY2012以降、競争法とカルテル事件の風化防止をテーマに研修を実施しています。FY2023は、独占禁止法と企業活動の正確な記録の重要性をテーマに開催しました。カルテル事件への対応を振り返るとともに、事件の事実と教訓を伝承するためにFY2020から開始した語り部活動を継続して実施し、国内の全営業部門の従業員が受講しました。

生産部門では、データ改ざん等の品質不正やハラスメントの防止をテーマに研修を実施しています。FY2023は、国内9つの生産拠点で研修を実施しました。

技術部門では、技術者倫理の醸成やデータ改ざん等の品質不正の防止をテーマに研修を実施しました。FY2023は国内の全技術部門の従業員が受講しました。

また部門別の研修以外にも、eメールアドレスを持っている全従業員に毎年コンプライアンスeラーニングを実施しています。

研修啓発活動の結果として、エンゲージメント調査におけるコンプライアンス関連設問について、好意的な回答の割合はFY2019の結果59%からFY2023の結果72%に改善しています。▶ P.75 主要非財務ハイライト

NSK企業理念の日

過去のカルテル事件から学んだ教訓を再認識し、NSKグループの全従業員が「カルテル事件を風化させない」という決意を新たにするために、また一人ひとりが企業理念を振り返り自らの行動規範とするために、公正取引委員会の立入検査があった7月26日を「NSK企業理念の日」として定めています。

FY2023は、日本および各国の拠点に社長メッセージを発信し、カルテル事件の振り返りや企業理念の解説に関する動画を視聴しました。その後、日本では、企業理念の実現に向けた行動指針「個を越えて、今を超えて」が定着した職場風土の醸成を目的に、NSKが取り組んでいる施策を紹介しました。

海外では、拠点の責任者のメッセージを視聴した後で、外部講師による講演、コンプライアンスに関するディスカッションなど、それぞれの拠点で独自の取り組みを実施しました。